

6年 道徳科学習指導案

令和7年1月25日(土) | 校時

6年1組 27名 授業者 矢野 佳奈

6年2組 27名 授業者 久我 綾

- 1 主題名 共に生きる 内容項目:D(19)生命の尊さ
- 2 教材名 「命のかがやき」 光村図書
- 3 ねらい 静香さんの成長を喜び、共に生きることのすばらしさを語る父親の姿などを通して、命について考えさせ、人とのつながりの中にあるかけがえのない命を大切にして、精いっぱい生きようとする心情を育てる。

4 展開

	学習活動(主な発問と予想される児童の反応)
導入	1 命の輝きと聞いて、イメージすることを発表する。 ・精一杯生きる。 ・毎日楽しく過ごす。 ・生き生きとしている。 めあて：命のかがやきについて、これまでの生活を振り返りながら考えよう。
展開	2 教材文を読む。 ○この話を読んで、どんな命の輝きを感じたのか考える。 ・静香さんにはハンデがあるかもしれないけれど、一生懸命に生きているところ。 ・静香さんの頑張りが、友達を笑顔にさせているところ。 ・一つの成長が、家族の大きな喜びにつながっているところ。 ・諦めないで挑戦しているところ。 ◎出し合ったことを心に置きながら、命の輝きとはどういうものか考えたことを話し合う。 ・前向きに生きていくこと。不安なことや嫌なことがあるかもしれないけれど、それを乗り越えて生きるのが大切だと思う。 ・人とのつながりの中で生きているから、自分の命だけでなく、友達や家族の命も大切にすることだと思う。 ・たくさんの人に支えられて、たくさんの人に感謝をしていくことだと思う。
終末	3 今、自分が生きている中で、大切にしていることをダイヤモンドランキングで整理する。 ・自分は、家族が居なければここまで成長できなかったから、家族が一番大切。 ・成長するときに、友達は必要不可欠だから、一番にくるのは友達かな。 ・私は、みんなの考えと少し違って、思いやりだと思う。

5 評価

- ・自分の命を見つめる中で、さまざまな人々のつながりや支え合いの中で命が育まれているのだと考えている。